

吉田熊次 くまじ 教育學者、文學博士。明治七年二月二十七日山形縣生
れ、昭和二十九年七月十五日歿（八七四—一九六五）。明治二十二年東京帝
國大學文科大學哲學科卒。翌年最初の國定修身教科書編纂に從事。二
十六年ドイツ留學。次々女子高等師範學校、東京高等師範學校各教授
を経て、大正五年東京帝大教授。翌年臨時教育會議幹事、十二年文政
審議會幹事を務めた。

著書、「倫理研究」（合著・東亞協會編、明治四十二年十一月二十日
弘道館）、『女子研究』（明治四十四年十一月二十日同文館）、『獨
逸研究』（合著・教育學術研究會編、同文館雜誌部）、『現代女性觀』
（合著・東亞協會編、大正六年九月一日弘道館）、『第一回兒童教育
講習會録』（合著・成澤金兵衛編、大正六年十月十五日兒童教育研究
所）、『國民道德とデモクラシー』（大正八年四月十五日同書書店）、
『新教育思潮の批判』（大正十一年一月五日教育研究會）、『國民理
想の確立・日本文化の特色』（田中義雄合著・思想問題研究會編、昭
和七年九月九日青年教育普及會）、『教育勅語頒發以前に於ける小學
校修身教授の變遷』（海後とよひなみ 公直共著、昭和九年七月十八日日本文化研
會出版部）、『山村茂樹著「日本道徳論」』（校、昭和十年一月二十五日
岩波書店「岩波文庫」）、『放送講演 近世教育思潮講座』（合著、昭和十
一年四月十五日日本放送協會）、『國民精神文化講演集・第六冊』（合



著、昭和十三年十月一日國民精神文化研究所）、『警察官 浴恩館講話録』

（合著・内務省警保局編、昭和十四年五月二十一日

警察協會）、『教育勅語と我が國の教育』（昭和十

五年十月二十日教學會「教學叢書」）、『弘道要義』

(世村茂樹)合著・日本弘道會編、昭和十六年二月(日本弘道會)、『國體』木義解説叢書・合本上(合著・文部省教學司編、昭和十九年九月二十日印刷)等。渡部政盛編『吉田熊次(六)の教育學』(昭和十八年十一月二十日日本教育學會)刊。

